

おはなしだより 11月

<年長>

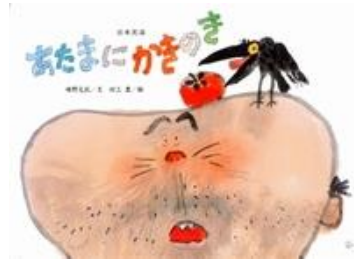
日本民話 あたまにかきのき

文: [唯野元弘](#)

絵: [村上 豊](#)

出版社: [鈴木出版](#)

ところでこの男、たんなる運がいいだけなのでしょうが？
この男が最後に幸せになったのは、なりゆき任せではなく、
自分で田んぼを耕したからです。どんな小さな土地でも
(頭ほどでも)、正直にきちんと働けば幸せになれる、奇想
天外なお話の中に、昔の人のたくましさを感じられます。



えんそく ごいっしょに

作: [小竹守 道子](#)

絵: [ひだ きょうこ](#)

出版社: [アリス館](#)

今日は、どろぼうたちの遠足です。山を登っていると、
向こうから刑事さんが。なんと、刑事さんたちも遠足
です。どろぼうたちは、木の中に隠れたりして、逃げ
ようとしてますが、うまくいきません。果たして、どろ
ぼうたちは、うまく逃げ切れるでしょうか。

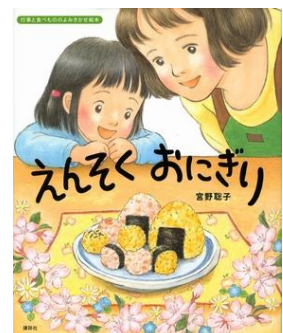
<年中>

いただきバス

作・絵: [藤本 ともひこ](#)

出版社: [鈴木出版](#)

表紙のバスをよく見てください。運転手さんがいない代わりに
顔が描いてあります。そう、このバスはなんだか不思議なバス
なのです。バスはネズミたちと会話をして、目的地を聞きだす
と、すぐさま出発。ねずみたちも、顔を見るとにこにこ笑顔。
しかし、案の定、道は行き止まり。そこから、りんごの木
に着くまでは、本を動かしたりして、子どもとコミュニケーシ
ョンを取りながら楽しんでください。バスとの掛け合いを楽し
む絵本です



えんそく おにぎり

作: [宮野 聡子](#)

出版社: [講談社](#)

親子の気持ちがかさなりあう、はじめての山登り遠足。ちいさな てで にぎる、まあいい おにぎり。おべんとうばこを あけるまでの ちいさな だいぼうけん。行事と食べものよみきかせ絵本、第1弾!!

きみちゃんは、今日、保育園の遠足で、はじめての山登りに行きます。朝早く起きたきみちゃんは、はむりきってママといっしょにおにぎりを作りました。

でも、きみちゃんは、うまくにぎれなくて、おにぎりがくずれてしまいます。そこで、ママはある工夫を……。小さな手でにぎるはじめてのおにぎり、それを持ってはじめての山登りに行く女の子のようすをあたたかく、細やかな絵で描きます。

<年少>

おばけのてんぷら

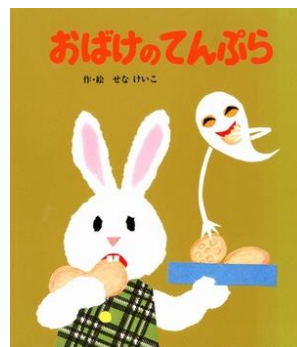
作・絵: [せな けいこ](#)

出版社: [ポプラ社](#) **特集**

うさこは山で、こねこくんがおべんとうを食べているのにであいました。おかずは、おいしそうなたんぷら。うさこはさっそく、自分でもつくってみることにしました。

「ああおいしい。てんぷらってだーいすき。」

うさこがごきげんでてんぷらをあげていると、においにさそわれて、山のおばけがそっとやってきました。



おやおや、おやさい

作: [石津 ちひろ](#)

絵: [山村 浩二](#)

出版社: [福音館書店](#)

今日は野菜たちのマラソン大会。「そらまめ そろって マラソンさ」「りっぱなパセリは つっぱしる」韻を踏んだような言葉とユーモアたっぷりの絵が実に楽しい絵本です。